



## 似合ってます



校長 中村 勝

2学期が始まり、暦の上では秋に入っているのかも知れませんが、まだまだ蒸し暑い日が続いています。子どもたちは、始業式から、教科の学習や運動会の練習など、よく頑張ってくれています。これからも温かい声掛けをよろしくお願いします。

私は、8月にちょっと無駄遣いをしてしまい、帽子を4つ買いました。外で作業をしていると、首の後ろ、うなじの辺りが特に熱いなあと感じたからです。でも、なかなか恥ずかしくてかぶらないことが多いです。そんな中、ときどき子どもたちが「先生、似合っています。」と声をかけてくれることがありました。そう言ってもらえるとうれしいので、たまにはかぶってみようかなと思うところです。

標題に「似合ってます」と書きましたが、その言葉で、私もうれしかったです。いろいろな相手への言葉掛けで、気持ちもよくなります。子どもたちへも、温かいうれしくなる言葉掛けをしていきたいものです。先日、糸糸を使ったかわいい作り物を見せてくれた子どもがいたので、「すごいね、かわいい。先生には作れそうにないよ。」と話す機会がありました。少しは、相手が喜ぶ言葉掛けができたかなと思っています。

2学期は、多くの様々な行事があります。気持ちのよい温かい言葉を掛け合って頑張りましょう。運動会もご声援よろしくお願いします。運動会前のふれあい親子作業も、暑い中ありがとうございました。

## ご存じですか？「ギャングエイジ」

9歳から高学年にかけての年齢期の発達の特徴です。主に同性・同年齢の強い仲間意識をもつ集団で、親や教師との関係よりも、仲間との関係を重視します。

また、大人から見ると「隠し事」も、子どもの世界では「仲間との約束事(ルール)」であり、容易に破ることは無いことが多いです。

お子さんがこの時期にさしかると、心配が増えるかもしれません。しかし、子どもたちの正常な発達と思い、信じて見守り、命にかかわる重大な事案と判断した時に、適切にサポートすることが大切です。

その上で、後述するような、家庭・地域の関わりが必要となってくるものと考えます。



## 公共施設の使い方は？



教頭 富永 圭一

「子どもたちの行動(公園等での遊び方・バス停での待ち方・道路の歩き方・施設の利用の仕方等)がよくありません。学校で指導してください。」  
このような連絡が入ることがあります。  
そんなときは、  
「その場で叱ってください。または、使用禁止にしてください。」

と、私は答えます。理由は2つあります。  
1つ目に、子どもたちは「その場で」学んでほしいからです。後日、学校で、数日前のことを指導されても、子どもたちの記憶に強く残るのは『先生から怒られた』です。

学校は叱るだけの場ではないと考えます。(もちろんそれぞれの学年の教科学習等で具体的に公共施設の使い方の指導はしています。)

2つ目は、地域の大人として、毅然とした態度をとってほしいからです。

本県教育委員会は以前から、「**人の子も我が子も地域の子**」というキャッチフレーズで青少年の健全育成を推進しています。家庭・地域・学校が『協働』して子どもを育むことで、より良い社会の担い手へと成長していくものと考えます。

次のような学校への連絡は大歓迎で、きつとお礼を言わせていただきます。

「**子どもたちの行動が良くないので、～のような指導をしました。学校で『も』指導してください**」

保護者の皆様も、地域の一人として、我が子に限らず、子どもたちの健全育成に御協力ください。



## 🎃 10月 🎃 行事予定

- 1日(水) 運動会予行
- 2日(木) 運動会会場準備(5・6校時)
- 3日(金) 視力検査(学年毎～15日)
- 5日(日) 第78回運動会  
※ 雨天時は6日に順延
- 6日(月) 振替週休日
- 20日(月) 校内読書旬間(～31日)
- 22日(水) ジョイントプラン  
※ 全校4時間授業
- 30日(木) 市陸上記録会(6年生)